

経 営 会 議 次 第

日時 令和8年4月1日（水）

16時30分～17時00分

場所 本庁舎2階 特別会議室

【議題】

1 基本構想の改定及び次期総合計画の策定について

2 今後の行財政運営について

名古屋市基本構想の改定及び 次期総合計画の策定における 基本方針



NAGOYA

やさし、あたらし、大名古屋

Open hearts,
endless possibilities

基本方針①

基本構想

策定からおよそ半世紀が経過する中で、策定当時と現在とでは、社会経済情勢や市民の価値観に変化が生じているため、**策定以来初となる基本構想の改定**を実施

次期総合計画

現計画が令和10年度に計画期間満了を迎えるため、令和11年度以降を計画期間とする次期総合計画を策定（計画期間に切れ目が生じないように、**令和10年度に策定**）

基本構想の改定と次期総合計画の策定に向けた検討を一体的に実施

ひ 基本方針②

基本構想

時代を超えて市政運営の指針となる**普遍的な羅針盤**として再構築することをめざす。

その上で、計画期間は設けないものの、2050年を一つの節目として議論を行い、名古屋として大切にしたい価値観などの基本理念を端的に示す。

次期総合計画

総合計画が**自治体運営の最も基本となる計画**であるという位置づけを維持しつつ、市政を総合的かつ計画的に運営していくことを目的として、次期総合計画を策定する。

なお、策定にあたっては「名古屋市総合計画2028」を前提としつつ、基本構想の改定に合わせて、計画期間や構成を含めた**全面的な見直しも視野に入れ、必要な検討**を行う。

④ 主な検討事項

基本構想

■ 普遍性の確保

- まちの特性や価値観を踏まえつつ、時代を超えて通用する表現へ
- 陳腐化しない理念・言葉づかいを検討

■ 役割分担の整理

- 基本構想と総合計画に記載すべき事項を整理
- 構想 = 指針・価値観、総合計画 = 実行戦略

次期総合計画

■ 構成・運用の見直し

- 計画構成の再検討
(計画期間、めざす都市像、重点戦略・成長の原動力など)
- 予算との関係を整理
- 効果的・効率的な進行管理手法

■ 掲載事業の精選

- 掲載基準の明確化
- 個別計画との役割分担を踏まえた事業整理

④ 検討体制

1. 基本構想策定当時の手法を参考に、**従来の有識者懇談会に代えて審議会（※）**を設置する。
2. シンポジウムやパブリックコメントなどを実施し、幅広く市民からの意見を聴く機会を設ける。
3. さらに、基本構想の改定と次期総合計画の策定を一体的に進めるため、これまで以上に多くの市民の声や意見を収集できるよう、**市民参加型のオンラインプラットフォーム**を活用した意見聴取を実施する。

〔総合計画2028策定時に実施していたオンラインディスカッション、SNSを活用した市民ニーズ調査などの一部取組みはオンラインプラットフォームへ集約。〕

（※）概要

【名称】 名古屋市基本構想等審議会

【所掌事務】 基本構想の改定に関すること・総合計画に関すること

【構成】 25人以内（学識経験者や各種団体など）